



ディスクロージャー優良企業受賞に寄せて

日本電産株式会社取締役副社長執行役員（最高財務責任者） 佐 藤 明

このたびは「平成28年度（第22回）ディスクロージャー優良企業選定」の個人投資家向け情報提供においてディスクロージャー優良企業に選定いただき誠にありがとうございます。おかげさまで弊社と致しましては4年連続10回目の選定となり、ひとえに日頃の投資家、証券アナリストの皆様のご支援の賜物と、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

当社は1973年に創業し、「回るもの、動くもの」に特化した世界No.1の総合モーターメーカーとして現在も創業経営者が経営を行っている会社です。当初はパソコン等に使用される精密小型モータ分野を中心に成長を続けて参りましたが、2012年度以降事業構造を大幅に転換し車載用モータや家電・商業・産業用モータが成長を牽引するようになりました。このように業容が大きく変化する中、IR活動を通じて事業内容の変遷や競争優位性をご理解いただき、中長期的な企業価値向上に繋げられるよう積極的に投資家、証券アナリストの皆様との対話を重ねて参りました。

具体的には四半期ごとに決算説明会を開催し経営トップ自らが説明を行うことを始め、2006年度からは技術説明会・施設見学会を随時開催しています。また、当社株式の外国人持ち株比率が3割を超えていることから、国内のみならず海外の投資家に対しても公正かつ適時・適切な情報開示が行えるよう、四半期ごとに英語での決算説明電話会議を開催しています。加えて、少なくとも年1回は北米、欧州、アジア地域の各々に経営トッ

プ層が赴き説明を行っています。その他にもニューヨークとロンドンにIR専任オフィスを設置し、各オフィスの駐在員が頻繁に説明を行うなど、常時グローバルにIRを行える体制を築いて参りました。

一方、個人投資家の皆様との対話においては、2008年度前後から徐々に取り組みを強化して参りました。当初、個人投資家向けIR説明会の開催は年間で指折り数える程度の機会数でしたが、例えば直近の2015年度においては計29回開催し全国各地へと足を運びました。又、証券会社のリテール営業を担当される方々に対しても当社説明会を催すなど幅広いステークホルダーへのIR活動を行っています。このような継続的IR活動が毎年少しずつ成果となって現れてきており、2008年度末の当社株主数は約2万8千人でしたが2015年度末は約6万人へと倍増しています。また、事業報告書やホームページは当社の事業内容や中長期的な成長ストーリーをご理解いただくための重要なツールと位置付け、どの年代の方にも分かり易い内容となるように心掛けて制作を行っています。

昨今コーポレートガバナンス・コードの導入に伴って“対話”が益々重要視される中、当社におきましても今一度IRのあるべき姿を見直し更なる改善に努めて参りたいと考えております。引き続きご指導ご支援いただきますようお願い申し上げます。